

## 中城湾港泡瀬地区埋立事業 海上工事石材投入について

今年度の海上工事における石材投入は、昨年11月30日から実施しており、今月末の完了を目指して鋭意施工中であります。

去る2月10日、泡瀬干潟を守る連絡会より、石材投入に対する改善要請がなされましたが、事業者が実施しました現地確認調査の結果とその対応については以下のとおりです。

### 1. 現地確認調査

事業者と請負企業5社で2月11日（金）及び15日（火）に現地での確認調査を実施しました。また、既に行った作業状況について、現場代理人や作業員からヒアリング調査を行いました。

#### 1) 石材洗浄について

石材の洗浄については、ダンプトラック全台数、洗浄施設にて90秒洗浄実施していることを確認しました。（1日平均150台）

#### 2) 石材を洗浄せず投入しているとされた箇所について（別添資料2参照）

①砂礫混じり土砂が表面にでている箇所は、石材運搬船が着くランプウェイに続く部分として重機が繰り返し走行した結果土砂化し平坦化したもの、あるいは重機の走行性の確保のため護岸頂部の不陸部分に砂礫等を投入したものです。（調査位置図①～④）

②また、護岸頂部の極めて限られた一画に、土砂が付着した石材がありました。（調査位置図⑤の赤色部分、約30m<sup>3</sup>）これは、運搬台船の底に残った土砂が付着した石材を不用意に投入したことによるものであることがわかりました。

### 2. 対応

1) 上記①については、施工上やむを得ない通路帯ではありますが、施工終了時には砂礫等を除去し、石材で置き換えます。なお、一部の箇所については2月12日に撤去しました（調査位置図④の赤色部分、約10m<sup>3</sup>）。

2) 上記②の土砂が付着した石材については、2月12日に撤去しました（約30m<sup>3</sup>）。なお、石材の台船からの搬出に際しては、スケルトンタイプのバックホウを用いるなどして、底の部分の土砂が混じらないよう細心の注意を払って作業をすることとし、作業員及び監督員にその徹底を指示しました。

### 3. その他

事業者、請負者ともに更なる環境保全意識の徹底を図るとともに、監視体制の強化を図ることとし、周辺環境への影響を最小限に止めるよう、工事实施を心がけて参ります。また、今後とも、周辺海域での厳重なモニタリングを続けて参ります。

配布資料

資料1) 施工手順説明写真

資料2) 現地調査結果

資料3) 対応状況

資料4) 周辺海域での濁りモニタリング結果



施工概要

1. 石材ふるい(スチルトンバット)



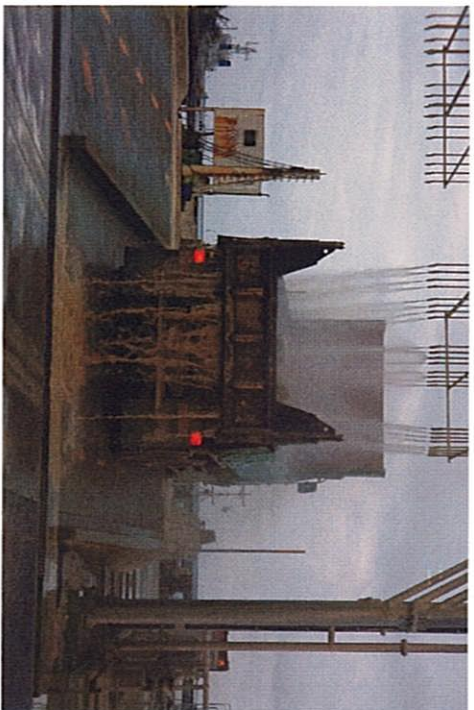
2. 積込(スチルトンバット)



4. 石材台船荷下ろし



3. 石材洗浄



5. 石材投入(スチルトンバット)



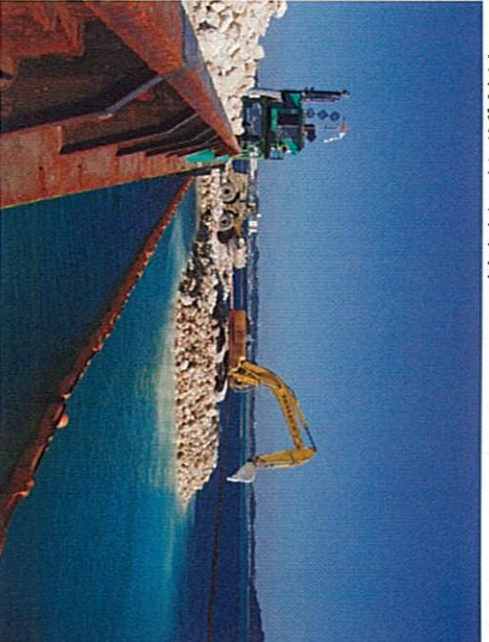
6. 石材投入(オランダバット)



7. 石材投入(トラクターショベル)



8. 石材投入(バットホク)





スチルトバケット及びオレンジバケット詳細

スチルトバケット

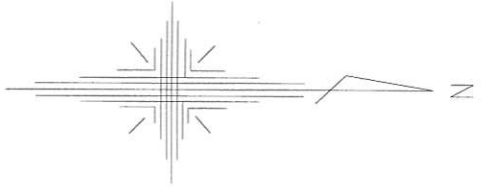


オレンジバケット





# 石材投入状況確認調査位置



測量台  
⑤

①

測量台  
①



②



台船係留

台船係留

C護岸  
No.77付近  
+3.100未満部

C護岸  
No.83付近

N護岸  
No.13 付近

N護岸  
No.2 付近

仮設煤橋  
No.0 付近



⑤



④



③

作業船舶  
出入り口

外周部汚濁防止膜  
延長約 L=2,200m

凡例

○ 調査箇所

● 除去済み

③④⑤ 守る会撮影付近

0 50 100m



現況確認調査

①仮設棧橋(NO.0付近)

全景



拡大



H=7cm





現況確認調査

②卜利護岸(No13付近)

全景



拡大



H=7cm





現況確認調査

③ト刊護岸(No2付近)

全景



拡大



H=10cm





現況確認調査

④C護岸(No83付近)

全景



拡大



L=14m





現況確認調査

⑤C護岸(No77付近)



全景



拡大



除去状況

④⑤C護岸 除去前集積状況



④⑤C護岸 除去状況



④⑤C護岸 除去材台船積込後状況





②卜利護岸(No13付近)



④C護岸(No83付近)



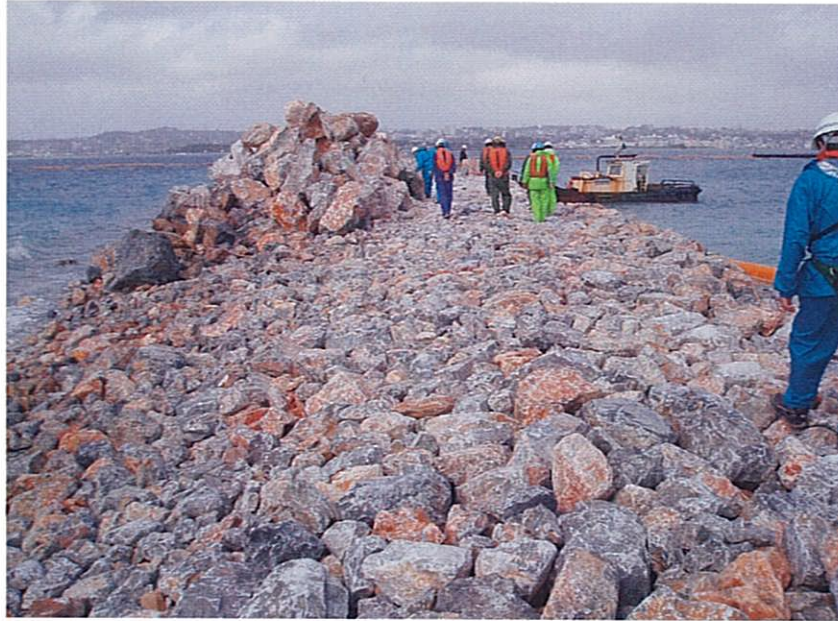
④C護岸(No83付近)





対応後状況

⑤C護岸(No77付近)



⑤C護岸(No77付近)





